

# 序

「臨床医学 疾病の成り立ち」は、疾病の原因・発症メカニズム、病態生理、症状・合併症、診断、治療法などについて学ぶ学問である。したがって、「臨床医学 疾病の成り立ち」を学ぶためには、「解剖生理学」、「生化学」などにより、健常者の人体の構造と代謝機能を十分に理解しておくことが重要である。また、「臨床医学 疾病の成り立ち」は、「臨床栄養学」、「栄養管理」、「栄養指導」を学ぶ前提として必要不可欠な学問である。すなわち、疾病の病態についての十分な知識をもつことにより、はじめて、「なぜ、このような栄養療法が有用なのか」を理解することができる。「臨床医学 疾病の成り立ち」は、「解剖生理学」、「生化学」などの基礎的な学問から「臨床栄養学」、「栄養管理」、「栄養指導」などの管理栄養士、栄養士にとって実際の実地臨床を学ぶ学問への橋渡しとなる学問である。

本書は「テキスト」と「ノート」の2冊セットにより効果的に学習することを狙った『栄養科学イラストレイテッド』シリーズのノート版である。「テキスト」で学習した内容を理解しているかどうかをチェックし、確実に知識としてもらうことを目指した自習復習用のノートである。是非、姉妹版のテキスト「臨床医学 疾病の成り立ち」とともに合わせて使用することをおすすめする。

本書は、各章のはじめに、これから学習する内容の重要ポイントを示す「学習ポイント」、高校までに習う事項など、学習の前に知っておくべき内容を確認する「学習の前に」、その章で重要となる「キーワード」が示されており、これから学習する内容をイメージできる。要点整理問題では、重要語句について空欄 [ ] になっており、答えられるようになるまで、くり返し学習できる。また、要点整理問題は、「テキスト」と対応しており、理解困難な問題については「テキスト」を参照してほしい。各章の終わりには、実際の国家試験問題に即した選択式の演習問題があり、自身の理解度がチェックできる。

また、各章には、「Coffee Break」欄がもうけられており、各章の内容をさらに発展させた興味深い話題が提供されており、楽しんで学習できるように工夫されている。本書が皆さんの「臨床医学 疾病の成り立ち」の学習に役立つことを願っている。

近年、病院においてはチーム医療による治療体制が確立され、管理栄養士は栄養のプロとしての高度な専門的知識が要求されるようになった。また、医療チームの一員として、医師、看護師、薬剤師など他の職種とのコミュニケーションを保ち、傷病者の治療全般にかかわるようになれば、管理栄養士は、栄養学的知識はもちろん、薬物療法など他の治療法や疾患の病態など「臨床医学」の広い知識が必要になる。本書を学んだ皆さんが、栄養のプロとして高度の専門的知識とともに、疾患病態に関する広い知識を兼ね備えた栄養士、管理栄養士になられることを期待している。

2011年9月

田中 明  
宮坂京子  
藤岡由夫